

皮膚の保湿に関わるヒアルロン酸の分解酵素(ヒアルロニダーゼ)の働きに対する阻害効果を測定し評価する試験です。

このヒアルロニダーゼは炎症時に産生される事が知られています。そのため、炎症・アレルギー反応にも関与しており、抗炎症・抗アレルギー作用についての試験でもあります。花粉症の薬にもこの効果を有する成分があります。抗炎症効果を測定することにより、刺激の緩和や炎症により増悪する様々な肌トラブルに対しての効果が期待できます。また、ヒアルロン酸の分解酵素であることから保湿の試験としても用います。

試験目的: 炎症、保湿

データ活用: 社内教育用資料 基礎研究データ

データ提出: 数値 画像

データ例:

原料Aの効果を目視で確認

原料A

水

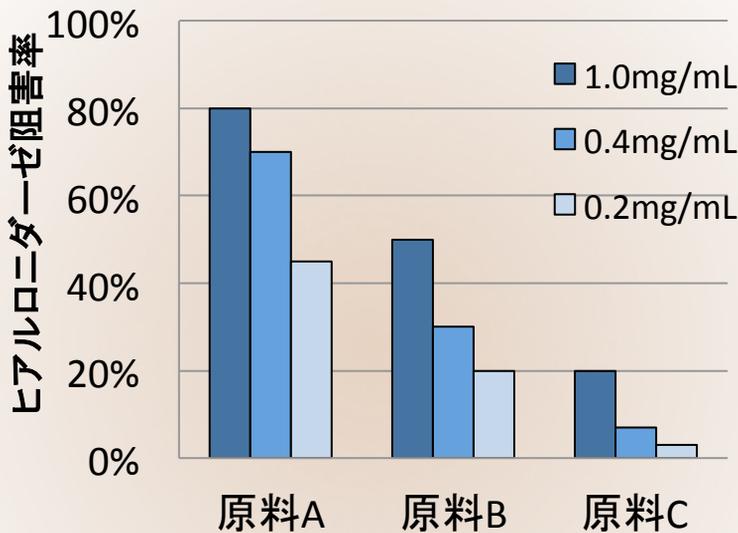


効果有

効果無

原料Aにヒアルロニダーゼの活性を抑制する効果が確認される

ヒアルロニダーゼ阻害効果



	原料A	原料B	原料C
効果	◎	○	×

原料A、Bに効果が確認され、特に原料Aの効果が高い